



大学学問体験「知の冒険」まとめ

昨年「進路学習」の一環として「進路研究～仕事とは～」と題し、「仕事をするということに対してどのように感じたか」「働くときに必要な事とは何か」「今後仕事をするためにどのように成長していきたいか」等個人でじっくり考察し、その考察をもとにグループで意見交換しながら模造紙にまとめ、自分たちの考察したことをクラスの仲間に伝えるという学習の取り組みを行いました。

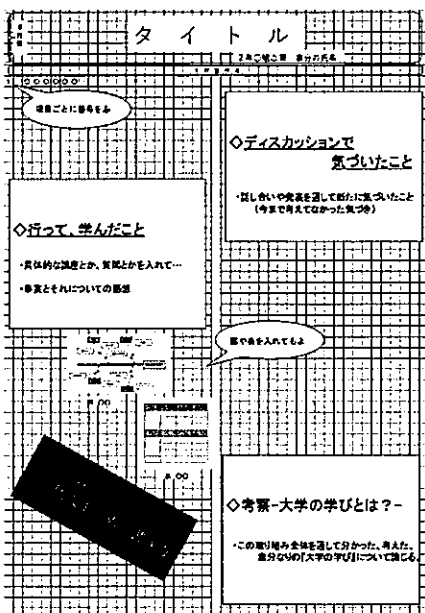
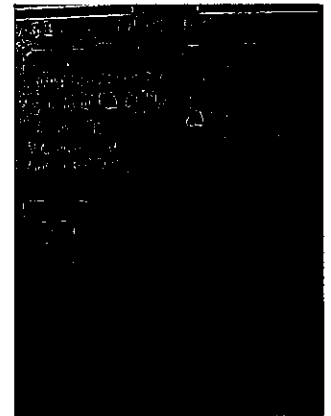
本年度は昨年の取り組みをさらに発展させた学習ととらえ、11月に“大学学問体験「知の冒険」”を実施いたしました。

事前に「大学とは何か」をじっくり考え、今回の体験は、大学生の生活の体験ではなく、“学問の体験”であることを全生徒が共通理解しました。とはいっても、どの先生も中学生に合った内容を考えてくださっています。

そして、「研究で何を知ろうとしているのか」「なぜ、その研究をしようと思ったのか」「研究の楽しさ難しさは何か」「研究を始めたきっかけ」等“大学とは何か”について自分自身の考えをまとめるため、講義を受けた後で、各先生に質問し「大学とは何か」について、さらに考えを深めました。

その後、事後学習として、「体験しているときに感じたこと」「大学の先生に質問したことについて」「質問以外で、大学の学びを考える手がかりになりそうなこと」の3つの問いに対して、知の冒険で得た情報を個人でまとめました。生徒たちはA3サイズのワークシート1枚にびっしりと文字を書きまとめていました。

そのまとめをもとに、「体験した内容から読み取る・考える」「質問の答えから読み取る・考える」「自分の発見：気づきから読み取る・考える」について班でディスカッションを行い、「大学でめざす成長とは何か」について、各班で結論を導き出しました。各班のまとめを、廊下に掲示していただきましたので、懇談の時にご覧になっていただいた方も多いと思います。



＜班まとめの例＞

- 自分の世界を広げるためのもの
- 世の中に疑問を持ち解決していくこと
- 向上心×創造力＝大学の学び
- 自分で成長する場
- 受け身ではなく自分自身の自立をすることができる

集団まとめで仲間の意見を知った上で、もう一度深く・幅広く考え、個人のまとめをすることとしました。左のように1枚の用紙にまとめます。それらのまとめを、1冊の冊子にして、年度内に配布したいと思います。(下書きはすでに終了していますので、ペン書きでの清書を冬休みの課題としています。年明け1月9日登校日が提出です。)